

2023年9月15日(金)~18日(月)

~北アルプス 槍・穂高山域 集中山行~

北穂高岳東稜 (ゴジラの背)

<参加メンバー> 6名(男性4名、女性2名)

<天候> 1日目 晴れ 2日目 晴れ 夜 雨
3日目 晴れ 4日目 晴れ

< 山行の概要 >

今回画策された北摂山の会集中山行につき、私達6名は穂高のバリエーションルートの一つである北穂高岳東稜を計画した。普段の岩トレに加えて事前トレーニングも数回実施し、秋風吹く(だろう)爽快な東稜に自信を持って取り組むことができた

初日は関西から沢渡まで車で移動。沢渡にある宿泊施設に泊まった。夕食はW氏予想通りの「〇〇焼き」。

2日目は宿の目の前にある駐車場からジャンボタクシーで上高地まで移動。身支度を整え出発。休憩を取りながら順調に歩を進め涸沢まで。涸沢小屋泊1名、テント泊5名。テント泊の夜は雨。めったに経験できないこの時間を楽しむ。

3日目はまだ暗い中、涸沢小屋の脇道から北穂へ向かう南稜への道に行く。急坂を登り行くと草付きの境目から大きな岩と1本の木が見えてきた。東稜取り付きとの分岐である。一般登山道を離れ急登、ザレ場に行く。トラバースし壁伝いに斜面を登り東稜に上がる。出だしは岩稜帯を歩く感じで徐々に傾斜が増してくる。各パートナーとロープで安全確保しながらコンテで進む。さらに高度感が増して行く。正面に「ゴジラの背」が見えてくるが渋滞にはまり停滞する。槍・穂高連峰を見ながら順番を辛抱強く待った。ロープを全て伸ばしスタカット登攀を行う。慎重に確保しながら徐々に狭まるルートを進むとギザギザの稜線が見えてきた。ここが「ゴジラの背」である。片側がスッパリ切れ落ちているためロープでの確保を工夫する、手掛かり、足掛かりはしっかりとあり思い切って進めた。その先の末端から懸垂下降し、降り立った場所から北穂高岳山頂を目指す。

北穂高着。天気も良く頂から見た3000m級の山々は壮大であった。疲れた足を労わりつつ頑張って涸沢に戻りテント撤収。集合場所である横尾山荘まで長い道のりを下り続け横尾大橋を渡ると懐かしい会の仲間の笑顔が・・・。

最終日、横尾山荘から上高地バスターミナルへ。途中の徳澤では若手3名?!アイスのパクリ!美味しかった!昨日とは打って違って楽しいハイキング。沢渡駐車場へと移動し、温泉で汗を流し帰阪した。色々あったが思い出に残る山行だった。

MOTSU (記)

<コースタイム>

9月15日(金)

JR川西池田駅集合 10:00
ライダーハウスともしび 16:10着

9月16日(土)

ライダーハウスともしび 7:15発
上高地バスターミナル 7:30着 7:45発
明神館 8:30着 8:40発
徳澤 9:25着 9:43発
横尾山荘 10:35着 10:50発
本谷橋 11:50着 12:00発
青ガレ 12:30着 12:35発
Sガレ 13:05着 13:10発
涸沢ヒュッテ 14:00着
テント設営
涸沢ヒュッテ懇談会

9月17日(日)

涸沢テント場 3:50発
涸沢小屋 4:00着 4:30発
北尾分岐 5:30着 5:45発
北尾根取り付き 6:15着
ゴジラ登攀開始 8:50
懸垂下降終了 9:55
北穂高岳 10:40着 11:00発
涸沢テント場 12:20着 13:45発
本谷橋 14:50着 15:00発
横尾山荘 16:00着

9月18日(月)

横尾山荘 7:30発
徳澤 8:15着 8:25発
上高地バスターミナル 10:10着



ライダーハウスともしび



W氏予想のすき焼き鍋



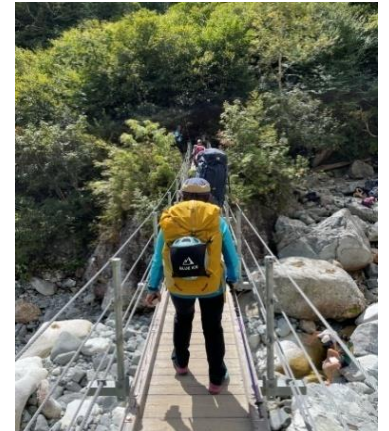
上高地観光センター



明神館



横尾山荘



本谷橋



Sガレ！ 落石注意



涸沢ヒュッテ 涸沢小屋分岐 また明日！



テント設営



素晴らしき涸沢 乾杯！



出発の朝



月と共に...



急坂を行く！



朝焼けの中の装備準備



急登を行く！



景色①



景色②



笑顔でポーズ



ビレイヤー①



ビレイヤー②



ヤッホー①



ヤッホー②



槍ヶ岳をバックに



辛抱強く...



正面ゴジラ



ゴジラの背



ゴジラの背無事通過



山頂にて



徳澤ソフト



マックで打ち上げ